

部局名	上下水道局	所属名	維持管理課	所属長名	氏家 稔	電 話	482-0924
-----	-------	-----	-------	------	------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9925		事務事業名称	配水管等維持補修事業					短縮コード	経常	9925	臨時	
予算区分	会計	91	水道事業会計_収益的支出	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	02	配水及び給水費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
給・配水管の老朽化に伴う自然漏水が発生したため。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして					
創設時に布設した給・配水管が老朽化し漏水の原因になっている。建設課で行う老朽管の更新（18年度実績9,326m/年）と連携しながら,毎年，着実に事業展開をして行く必要がある。						大項目（節）	04	水道					
						中 項 目	01	水道					
						小項目（施策）	03	災害・環境対策の強化					
						細 項 目	02	有効率の向上					
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費	千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	給・配水管等の水道施設							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 自然漏水が362箇所発生しその修繕を行った。							
	※平成19年度に計画していること： 自然漏水箇所を408箇所と予想しその修繕を計画。							
意図 （何を狙っているのか）	老朽化した給・配水管の更新を図ることで，自然漏水を防止する。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	水の有効利用が図れる。							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	配水管総延長	k m	610.1	612.5	614.1	616.5	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	漏水修繕件数	件	378	408	362	408	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	二次災害発生件数	件	0	0	0	0	
	指標2	有効率	%	95.4	100	95.6	100	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		9925	事務事業名称	配水管等維持補修事業			所属名	維持管理課
			単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円		0			
		県	千円		0			
		地方債	千円		0			
		一般財源	千円	114, 357	133, 535	126, 252	136, 964	
		その他	千円	6, 524	7, 600	7, 158	7, 743	
	主な事業費の内訳			公道漏水修繕及び修繕に伴う事務費 112, 837千円	修繕費 132, 003千円	修繕費131, 989千円	修繕費134, 172千円	
人件費 (B)			千円	25, 504. 6	25, 794. 8	32, 811. 9	32, 811. 9	
トータルコスト (A) + (B)			千円	146, 385. 6	166, 929. 8	166, 221. 9	177, 518. 9	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由						
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		有収率・有効率の向上に寄与している。						
			☐ 結び付くが見直しの余地がある								
			☐ 結びつきが弱い・ない								
			☐ 評価対象外事項								
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		漏水は「復元現象」として必ず発生するものである。これを抑制するためには管路更新・施設の改良等が必要である。しかし、年間に更新できる管路延長は限られており、更新対象から外れた管路対策として毎年実施しなければならない。また、管路更新されたところについては、数年間は漏水復元をほぼ抑制できると言われているが100％ではない。						
			☒ 達成していない								
			☐ 評価対象外事項								
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		修繕は既に委託しているが、事業の運営主体は局が担うべきと考えている。その理由は次のとおりである。 ①苦情処理(一般的な苦情から営業補償を求めるものまでである) ②二次災害対応（道路陥没から家屋の亀裂等） ③断水工事に伴う段取りや洗浄 作業と水質管理，等々を勘案すると業者対応は無理である。						
			☒ 可能性はない								
			☐ 評価対象外事項								
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		現状の対象と意図で、漏水の防止ができ、有収率の向上を図ることができる。						
			☐ 見直す必要がある								
			☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		老朽化した給・配水管を更新し、漏水の未然防止に努めているので、これ以上の有効性や効率性を求めることはできない。						
			☐ 効率性向上の可能性はある								
			☐ 両方可能性がある								
			☒ 可能性がない								
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)			
			☐ 臨時的任用職員等の活用								
			☐ I T化等業務プロセスの見直し			2		実施主体 (所管部署)			
			☐ 受益者負担の見直し								
			☐ 類似事業との統合・役割見直し								
			☐ 上記以外の方法								
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）			☐ ある					
						☐ ない					

コード	9925	事務事業名称	配水管等維持補修事業				所属名	維持管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			建設課（配水管）及び給排水相談課（給水管）による老朽管の更新事業が継続されていること、また、漏水の「復元性」等もあり、現状のまま継続していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			漏水を未然に防止できるよう現状の方法で対応していく。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
老朽管更新（特に鉛管，鋼管）及び本管口径の増径（一部地域）要望あり。	

所属長コメント	毎年, 給・配水管や施設の改良等が行われているが，漏水は減少していないので現状維持で進めたい。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		